

第34回 日本骨折治療学会の開催へのお誘い

第34回日本骨折治療学会を福岡市で開催させていただきますことを大変光栄に存じております。会期は平成20年6月27日(金)・28日(土)の2日間、福岡市の福岡国際会議場にて行います。当会場は平成15年3月にオープンし、4月に第26回日本医学会総会が開催された会場です。車で福岡空港から15分、新幹線、博多駅から10分のところですよ。

本学会は先人のご努力により大きく発展し、会員数3200名を擁する大規模な学会に成長致しました。骨折治療に関しては古くから徒弟制度的な修行により知識、技術の習得がおこなわれて多くの方法が編み出されて発展し継承されてきました。その後、AOグループにより学問的に体系付けられた治療が行われるようになり治療方法、治療材料も変遷、進歩してまいりました。

それと同時に社会情勢も変化し医療を取り巻く環境も大きく変化しつつあります。われわれに求められるのはグローバルスタンダードに則った質の高い医療であります。そのためには日常の診療、研究の成果を発表、討論していただき得られた成果を社会に還元していく必要があります。

今回、学会のテーマを「成長期の骨折」と致しました。小児の骨折は多くが保存的治療の適応であり、適切に治療されれば予後は極めて良好であります。医療情勢や社会・家庭環境の変化に対応して経皮的内固定法などの手術も行われるようになりました。診断や治療の原則は同じですがその方法が変化しつつあります。

今回、現在行われている診断、治療の方法について検証したいと考えております。その目的で「成長期の骨折」をシンポジウムで取り上げ、招待講演、ヌーンタイムレクチャーの中でも講演を予定しています。

また新しい内固定概念として出現した「Locking Plate」は第31回本会でパネルディスカッションに取り上げられましたが、3年経過し症例も増えて利点だけでなく問題点、工夫された点などがあると思われますので、再度パネルディスカッションに取り上げました。

共催セミナーとしてヌーンタイムレクチャー10題、モーニングレクチャー3題、イーブニングレクチャー3題、若い整形外科医のためのハンズオンセミナー3会場を企画しています。

福岡は海産物も豊富で美味しいお酒もたくさんあります。近くには大宰府天満宮、九州国立博物館、少し足を伸ばせば活火山の阿蘇山、九重のやまなみ、別府温泉・地獄めぐりを楽しむことができます。

北海道整形外科外傷研究会の先生がたのご参加をお待ち致しております。

第34回日本骨折治療学会

会長 吉田 健治 (聖マリア病院)